



# 善正寺だより

〒:512-0902  
三重県四日市市  
小杉町1014  
浄土真宗  
本願寺派  
善正寺  
TEL:0593-31-1670  
FAX:0593-32-0733

## 掲示板法話

### 念仏三昧の人は

### 遊び心で尊い姿を見せてくださる

最近暑さ対策に、グリーンカーテンなどと呼ばれる野菜や植物を軒先に栽培する家を見かけます。私どものご門徒のKさんは、ここ数年アサガオを塀際に大きく育てて、アサガオのゲート(門)を作り、見物人が押しかけるほどになりました。ところが今年、アサガオの生育が芳しくないため、アサガオのツルで文字を描きました。

それが何と高さ1.5メートル、幅8メートルにパイプを組み、ツルを這わせた「念仏三昧」の大きなものです。八月の半ば頃までの「XYZ」という文芸グループの名称から、この「念仏三昧」に組み替えるのに厳しい暑さの中1週間ほど奮闘したそうです。口さがない人が「物好きな・・・」と陰口を叩きそうですが、この人にはそんなことはなさそうです。なぜならば、六十の手習いでたしなむようになった短歌が『大乘』誌に掲載されたのを喜んで、自宅の庭の一角に歌碑を作るなど、老いて尚、若々しい精神の持ち主で誰からも敬愛されるようなお人柄なのです。私は秘かに「遊び心の達人」と呼んでいます。



遊び心とは「見返りを求めない心」です。『正信偈』の中に「遊煩惱林現神通」とある、あの「遊び心」です。お浄土に往生した人は、真如の覚りを得て直ちにこの煩惱の林のような娑婆世界に戻つて、見返りを求めることなく遊び心で自在にお救いの活動をなさると親鸞様は言われるのです。

写真撮影にお訪ねしたとき、「いつも念仏三昧のあなたらしいアサガオの生垣ですね」と申しましたら、この人は手を振って強く否定するそぶりでした。Kさんのお心を推察すれば、「ともすればお念仏を忘れがちな自分自身を振り返るよすがにでも・・・」と軽やかに思い至ったのであろうか、と想像されます。普通なら、大きなことをしたとか、作るのに随分苦労したなどと言いたいところですが、まったくの自然体は見事です。仏法に育てられたお人柄は円満で、謙虚だな、と頭が下がります。

「お念仏を忘れがちな自分自身を振り返るよすがに・・・」というお心は自身自身の上に頂いていかなければならない、と改めて教えられました。

## ☆行事ご案内☆

### ☆10月15日(土)

### 親鸞聖人750回大遠忌法要参拝

出発:午前8時 小杉公会所(寺の南徒歩3分)

(バス出発の15分前には必ずご集合下さい)

持ち物:数珠、門徒式章(ある人だけ)(経本は不要)

#### ※10月の門信徒会例会

第3日曜日が、京都バス参拝の翌日に付きお休みします

◇キッズサンガ 10月1日(土)午後4時友達誘ってね

毎日夕方5時の鐘撞きは誰でもOK 飴ガム付。年中無休

◇三重組コーラス 智積西勝寺様で練習10/3(月)、10/31(月)いずれも午後1時半、次回陽光苑慰問は未定

予告11/23(水)午前8時より お磨きと「秋勸進」  
12/3(土)夜7時半「お内仏報恩講」

◇一縁会テレホン法話059・354・14543分間法話聞けます

善正寺ホームページ「三重 善正寺」で検索、「つれづれ日記」が好評  
長男もブログに参加、満3年1ヶ月で5万アクセス達成!平均80以上の訪問(1日)に感謝!HPからのメール、悩み相談など大歓迎!ブログは毎日更新しています。ケータイからでも見られます。

来年4月21日(土)午後1時半「初参式」赤ちゃん大募集千円

## 良書紹介

上田紀行『慈悲の怒り:震災後を生きる心のマネジメント』朝日新聞出版

震災直後から、驚き、恐怖、悲しみ、不安、憤り・・・の感情に襲われた著者「ん身の最新作。混乱の中で「がんばろう」の連呼を聞き、「がんばろう」は「判断停止」だと危機感が増したという。『慈悲の怒り』は5年前に対談したダライラマの言葉であり、慈悲を原動力にして毅然として改革することが求められると主張する。「もやもやの原因がわかった」「これで前向きに進んでいける」などの読後感が寄せられている、という。この国の現状を憂える人には絶好の良書だと思われる。「一読を！」

## アサガオのつるで『念仏三昧』

四日市市小杉町の川崎孝一さん(80)は、アサガオのつるで文字を表現し、近所の評判になっています。文字は『念仏三昧』。自宅の塀幅8段、高さ1.5メートルにパイプを組み、つるをはわせました。

昨年までは、しだれ状にして生育させるなどをしていました。ことは生育不良で、一部しか芽が出ず、何かできないかと考えました。

信仰的な要素もあり、『念仏』との文字にしてみようと思いつきました。川崎さんは「また来年は他の案を考えてみたい」と話しています。



小杉町の川崎さん

# 坊守スケッチ

## 『私の3K』・生きる指針



かつて3Kという、「きつい、汚い、危険」の頭文字で、敬遠されがちな職業の代名詞として使われた。

今から言う3Kは、マイナスイメージではなく、プラスの3Kのこと。明治生まれで、近年亡くなられた松原泰道師は、著書『日本人の遺言』の中で、生きることにつまづいた人に向けて、次のように書いています。

「私が人生を歩む時『心の軸』となる三つの言葉がある。「感動」「希望」「工夫」。名づけて『私の3K』。

人は先ず感動を忘れてはいけない。どんな些細な事でも感動の種は潜む。常に学ぼうという姿勢でいると、新しい発見があり、感動できる。感動することは、物事を考えるきっかけとなる。

次に「希望」。アメリカの詩人サミュエル・ウルマンは「希望がある限り若く、失望と共に老い朽ちる」と書く。希望を持ち続ける松原師も、百一歳でありながら、八十歳に見られるとか。

三番目は「工夫」。希望を持つと、どのように実現しようかと創意工夫を凝らす。実際、逆境にある人ほど、物事を深く考え、ここから這い上がる為、何とかしようという工夫をする。工夫をすることで、人は心豊かに過ごせる。むしろ逆境の多い人生こそ、喜ぶ種を見つけてきつかけになるのだと受け止めたい。

ところで坊守として 歩んできた、私の人生を振り返る時「私自身の3K」が浮かんだ。それは「健康」「気遣い」「感謝」の三つ。

先ず「健康」であるが、寺の生活は規則正しい。朝6時の鐘撞きは、私に早起きの習慣と早朝散歩の趣味を与えてくれた。散歩で血圧が安定し、ストレス解消になり新鮮な感動の連続。

二つ目の「気遣い」。寺にいと多くの人の出入りがある。自分の好きな人だけ付き合っていればいいものでもない。誰とも挨拶を交わし、笑顔で対応する。相手への「気遣い」があれば、人間関係を潤滑にしてくれる。エゴを押さえ、思いやりに満ちた人々に出会う交差点、それがお寺である。

三つ目の「感謝」。寺のことを何も知らなかった私が、自由に活動できるのも、協力してくれる家族や支えて下さる門徒さんのおかげ。これらの人々へ「感謝」の心を忘れてはならない。

ある先輩坊守さんが、腰痛で杖をついていた。「水中ウォーキングが腰痛には効くらしいですよ」と言ったら、「私もそうしたいのですが、百歳の姑が『水着姿の坊守を見て、檀家の人は何と言う?そんな者に、お経を読んでもらいたいのか』と止められました。上品な坊守という古い概念が抜け切らない体質が、まだお寺には存在する。」

「私だったらスイミングのお友達に、『一度お寺にお参りに来ませんか』と誘うけれど」と言う。「それはあなただからできること」と一笑された。私を粹にはめずに自由に活動させ、育てて下さった皆さんに感謝する。

### ☆寄稿

四日市市川崎孝一  
☆門徒展 絵筆とレンズ 競うこと 鐘楼傍に 親鸞像を

☆「春燕」を 解けばツバクロ 春に来る 『縁は異なるもの・』 吾が菩提寺へ

☆草取りの 汗だくシャツを 脱ぐ土間へ 布袋袋が 涼感誘う

☆五・四調で 晩夏の昼夜 鳴き通す タフに翅擦る 籠の鈴虫 四日市市 A・O

☆わが友を 送りて迎うる 新盆の 灯明(あかり)となりて 照らすも悲しき

### ☆ホットニュース☆

☆10/15(土)親鸞聖人750回遠忌法要バス参拝、

※出発午前8時(時間厳守)15分前には必ずご集合下さい。乗車場所・小杉公会所(南へ徒歩3分)車は寺の駐車場へ近づきましたら、参加者全員に詳細を配布または郵送します。ご参照下さい。住職、若院が揃って僧侶として出勤。

※10月の例会は、第3日曜日が京都バス参拝の翌日に付きお休みします。

☆善正寺のホームページ。「三重 善正寺」で検索可。毎日更新の「住職と坊守のつれづれ日記」が好評。開設3年1か月で5万突破1日平均80訪問

☆住職と坊守の2冊目の共著本『鳥の眼・虫の眼・仏の眼』(自照社刊)好評発売中!挿絵は門徒の服部雅之氏

### キッズサンガ・杉の子合唱団

☆10月1日(土)午後4時 友達を誘って来てね!夕方5時鐘撞きは毎日。

### ♪三重組コーラス♪

☆練習場所は智積西勝寺様で。 ☆10/3(月)☆10/31(月)いずれも午後1時半

☆11/8(火)本山記念音楽祭

### 平成23年度後半善正寺主な行事予定

※10/15(土)親鸞聖人750回大遠忌法要バス参拝(50名)

※11/23(水)午前「秋勸進」

※12/3(土)夜お内仏報恩講

◇12/23午前11時次男挙式 ☆来年(平成24年)4月21日(土)午後1時半三全仏主催の初参式に参加の赤ちゃん及び幼児を大募集!

### ☆編集子より ☆

「善正寺だより」第二一四号をお届けします。◇大震災から半年以上経過しても、復興は遅々としています。今後とも心や支援を寄せ続けたいものです。◇宗祖七五〇回大遠忌法要も後半、自由参拝も可能です。どうぞお参り下さい。◇二度とない一日一日を大切に、合掌

秋の彩り濃い垂坂山で自殺がありました。場所はいつも  
私達がストレッサをすすめる東屋、今年で三人目です」とある  
人の話。自然の恵みを満喫しながらいい気分て歩い  
ていた私達にはショックな事でした。自死した人は  
昨夜まっ暗闇の中を一人でこの階段を登ったのか？その  
時はどんな気持だったろう？と想像するだけでも  
胸が締めつけられました。休職に僧侶だから枕経を  
読んであげたら」と言うのと現場に向いました。「身内の方  
ですか？」と警官に呼び止められました。事情を話  
すと「七十歳の男性ですが心当たりは」と聞かれま  
した。全く見当がつかず身元不明者のまま搬送され  
ました。翌朝から殆んどの散歩客が気味悪かって現  
場には近づきません。ある人だけは「死んだ人より生き  
てる人間の方がもっと怖い」と平気で近づきます。私  
達も毎朝現場で合掌して念仏を唱えます。  
知り合いから「これからますますお寺の出番ですよ  
死んでからではなく死ぬ前に相談に乗って頂ける  
お寺であって下さい」と忠告を受けました。年間三  
万人を超えらる自殺者、今年は大震災の影響で  
増加傾向にあります。悩める人が死を選ぶ前に  
気軽に相談できる寺になりたいと思います。十月  
十五日(土)はバスで西本願寺団体参拝です。五十年  
に一度のご勝縁に共にお参りいたしましょう。

平成二十三年十月

合掌 善正寺方守 拝